



今、この年に一丸となる！

長沼 隆伸

明けましておめでとう御座います。新しい年に向け皆様いろいろと本年度の目標であったり、方向性であったりを考えられた事と存じます。

昨今の中小企業を見てみますと、人材について皆様悩み、どう育てるか、どうすれば勢いのある会社

にできるかという点など気にされているのではないのでしょうか。高度成長期を支えてきた50代60代、バブル期を経験した40代、バブル終焉後の30代、ゆとり教育を経験させられた20代と各世代によって一括りにされがちな傾向にあるように感じます。

社内のレクリエーションによって一つにまとまるか、はたまた数字を公にする事によってまとまって行くのか。いろいろと手段はあります。

一つの手段として、ガンバルという手段があるように思います。至極あたりまえの事ですが、常々からガンバルというのなかなか難しいものです。

「ひとはひとが頑張っている姿をみて頑張れる」

という言葉聞いた事があります。「あのひとが頑張っているから頑張れる」「あのひとのためなら頑張れる」「一生懸命やっているから答えてあげたい」すべて同じ事ではないでしょうか。

「社長は誰よりも早く出社しなければならない」と言う人も居ます。

これも社長が頑張っている姿を社員に見せる事によって頑張るという事だと思えます。

高度成長期を支えた50代60代の影に隠れて、後輩を育てる事が苦手な40代、間に挟まれて今一どう動けば良いのか分かっていない30代、昔に比べると育つのが遅い20代と世代によって問題点を抱えています。

家を建てる時にも、自分で思い描くよりも建売の方が売れやすいとか、その商品をどう使うのかを具体的に提示しないと物が売れないとか、想像力の欠如による現象を良く耳にします。主体性を持つというのは、自分の事ではない事について、自分の事であるように考えるということです。想像力が欠如した中で主体性を持つというのは至難の業になってきています。

具体的な数字を明示してそれに基づいて動く、損益分岐点売上を明示する。売上高で語れない企業においては、必要粗利益を明示するなど、数字で表す事により、想像力を補うという手段もあるように感じます。

従業員さんに必要な売上高の意識を持ってもらう、原価意識をもってもらう。今からでも遅くはありません。ぜひ一丸となって頑張れる企業になりましょう！



今年の抱負を語る。



当事務所では、毎年年初に各人「今年の抱負」を全員の前で発表し、色紙に書いて壁に掛けています。

職員一同、今年もまた新たな目標を立てて頑張りますのでどうぞよろしくお願い致します。

(佐伯)

小規模企業共済へのご加入はお済ですか？

小規模企業共済制度は、廃業や退職の時の生活資金を準備する制度です。

共済の掛金は、毎月1,000円から70,000円の範囲で自由に選択でき、掛金は、その全額を所得から控除することができます。また、廃業や退職の時に共済金を受取る時にも、退職所得や公的年金の雑所得扱いとなり各種控除が利用でき、経営者個人の節税対策として効果があります。

平成23年1月からは事業主の共同経営者も加入できるようになりましたのでご参考頂き、まだ加入されていない方は一度検討されてみてはいかがでしょうか？

税務的な取り扱いなど、もっと詳しくお知りになりたい方がいらっしゃいましたら私共にお問い合わせ下さい。

(渡邊)

新入職員も宜しくお祈いします。

成田 大介

昭和58年9月1日生
血液型A型

8月に入所して、この1月で6ヵ月目になります。

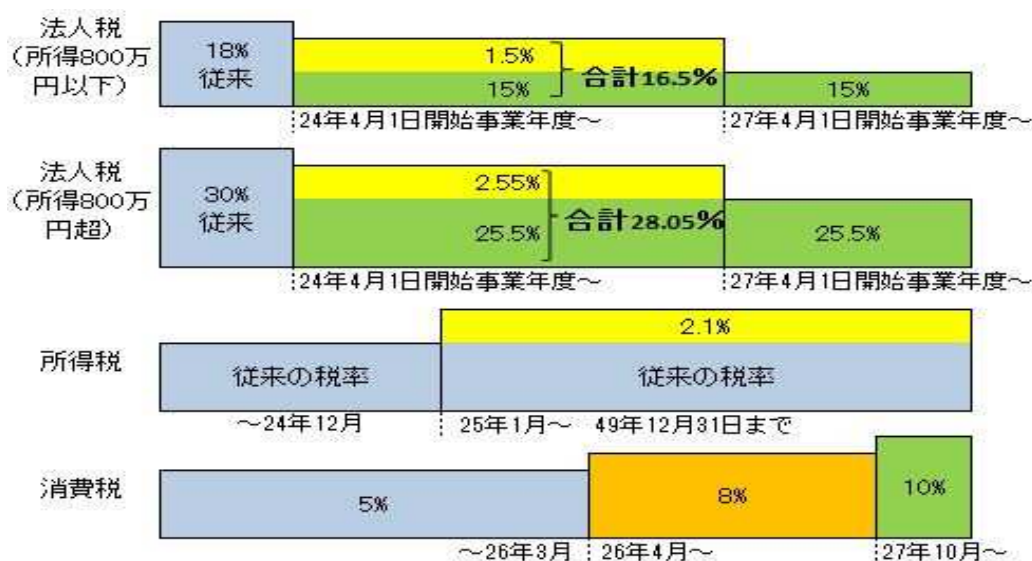
今までは奈良県に住んでいましたが、入所にあわせて兵庫県に移ってまいりました。

日々の実務では新しいことの連続で、まだまだ学ぶことばかりですが、お客様のお役にたてるよう精進いたしますので、宜しくお願いします。



今年から、各税目の税率が変わります。

法人税は減税の方向にありますが、平成27年までは復興特別税率が上乗せされ実質増税となり、所得税は従来の税率を据置いたまま平成49年まで復興特別税率が上乗せされるため、増税となります。消費税については平成24年12月31日現在の状況では増税の方向にあります。



(石川)

編集後記

この一年、暗いニュースが多いなか、オリンピックでは、史上最多のメダルを獲得し、見る人に大きな感動を与えました。日本人として19人目となる山中教授のノーベル医学生理学賞の受賞の喜びもありました。国の将来を左右する師走の総選挙で今年一年も締めくくりとなりました。

景気浮揚、経済再生の展望が開けて希望の持てる一年になりますように、職員一同願っております。

今回は、業務一課がお届けしました。

(森)